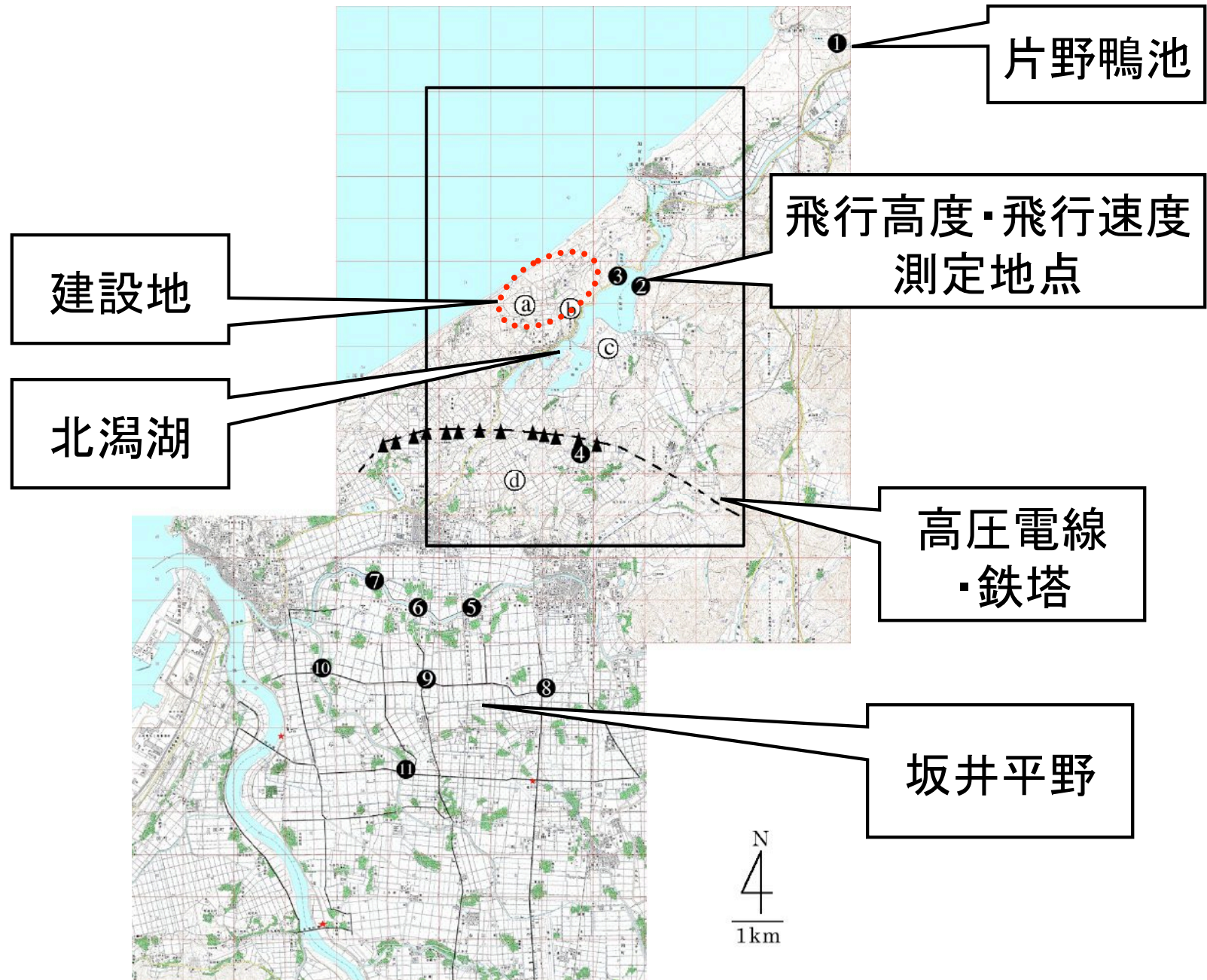


# 北潟湖周辺における マガンの飛行状況に関する調査報告

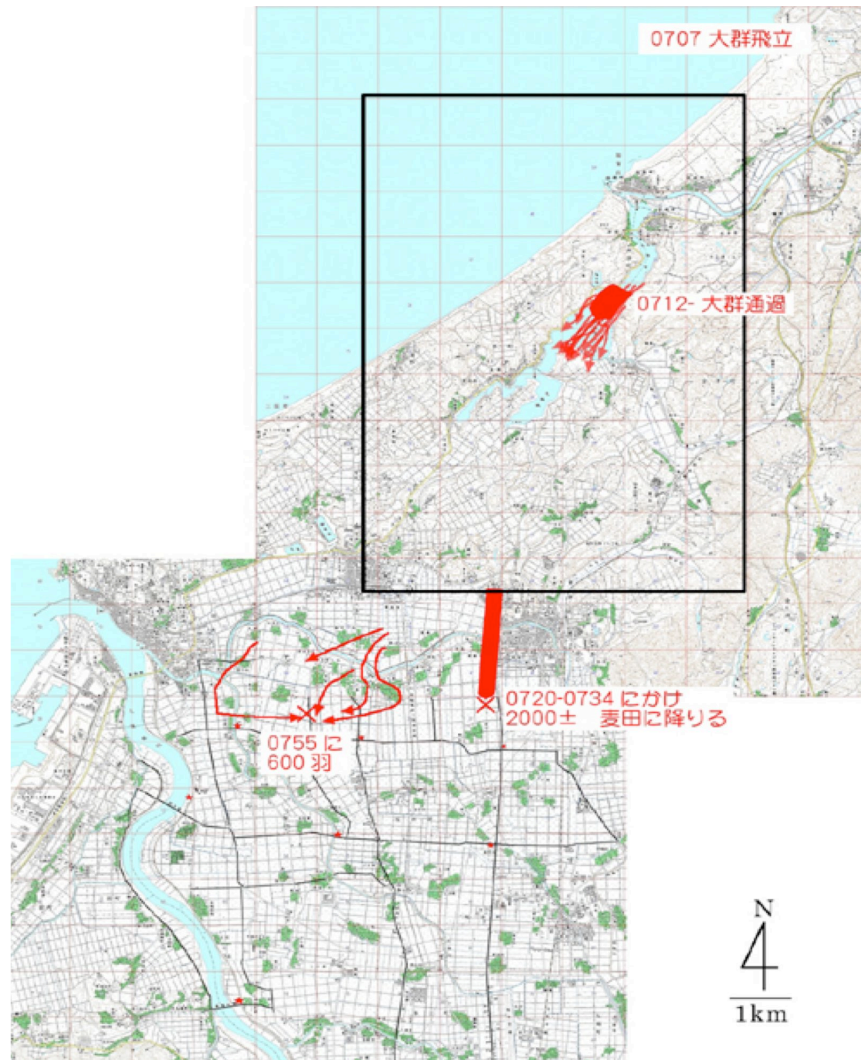


(財)日本野鳥の会

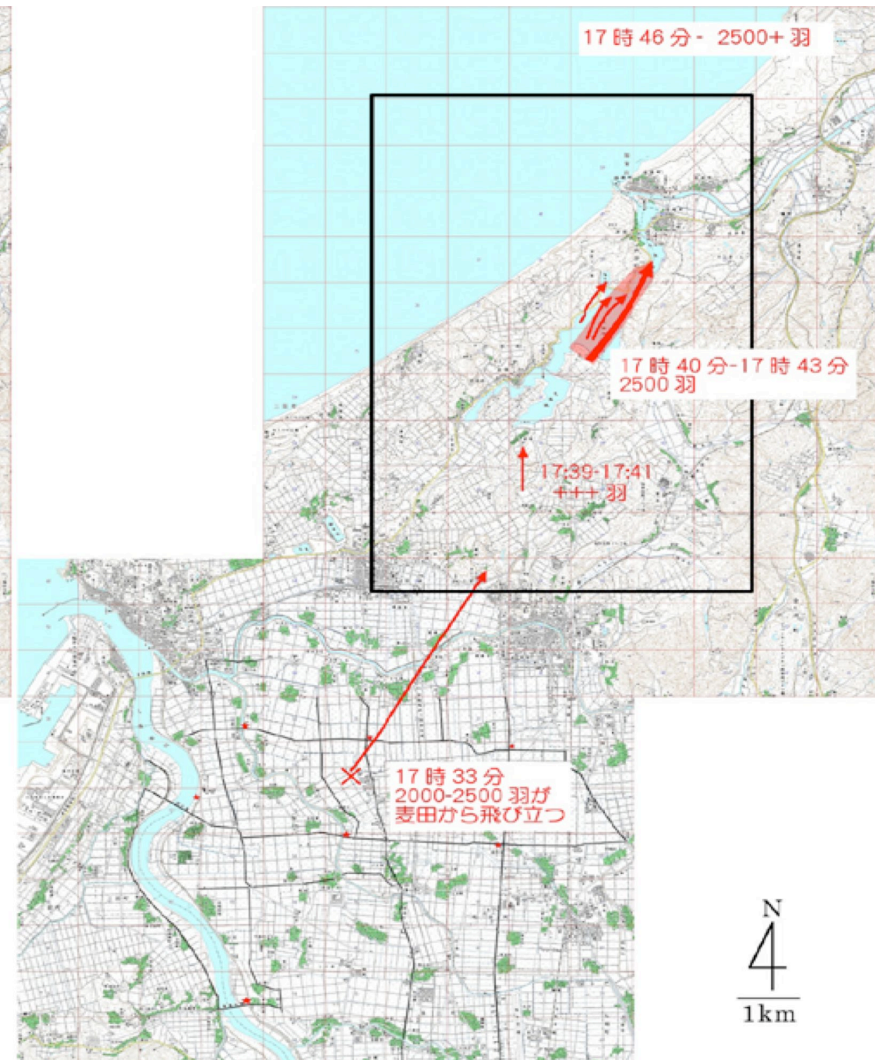
# 調査地



# マガンの飛行ルート(2010年1月30日)

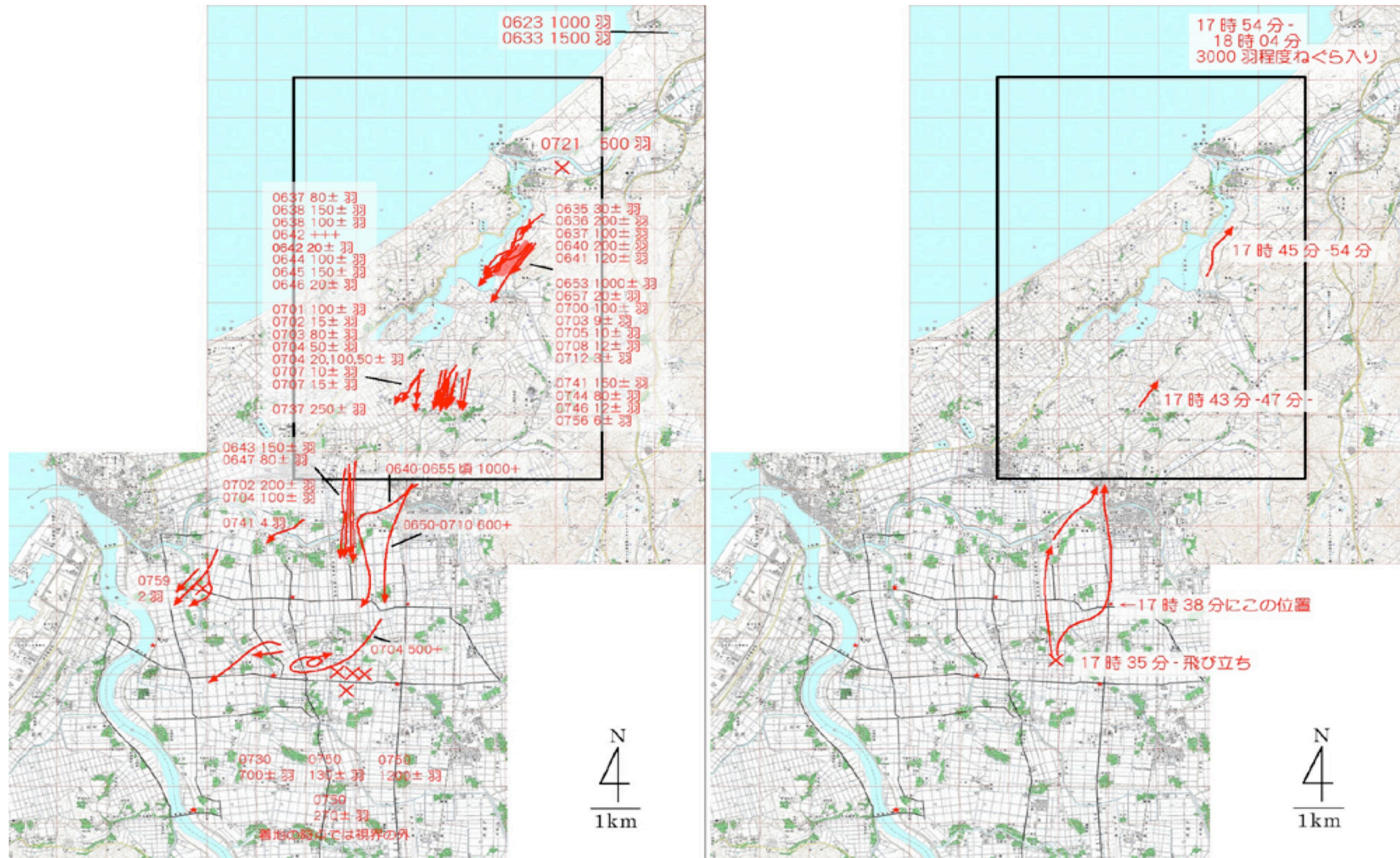


餌場までの距離 約13km  
平均飛行速度 60.8km/h



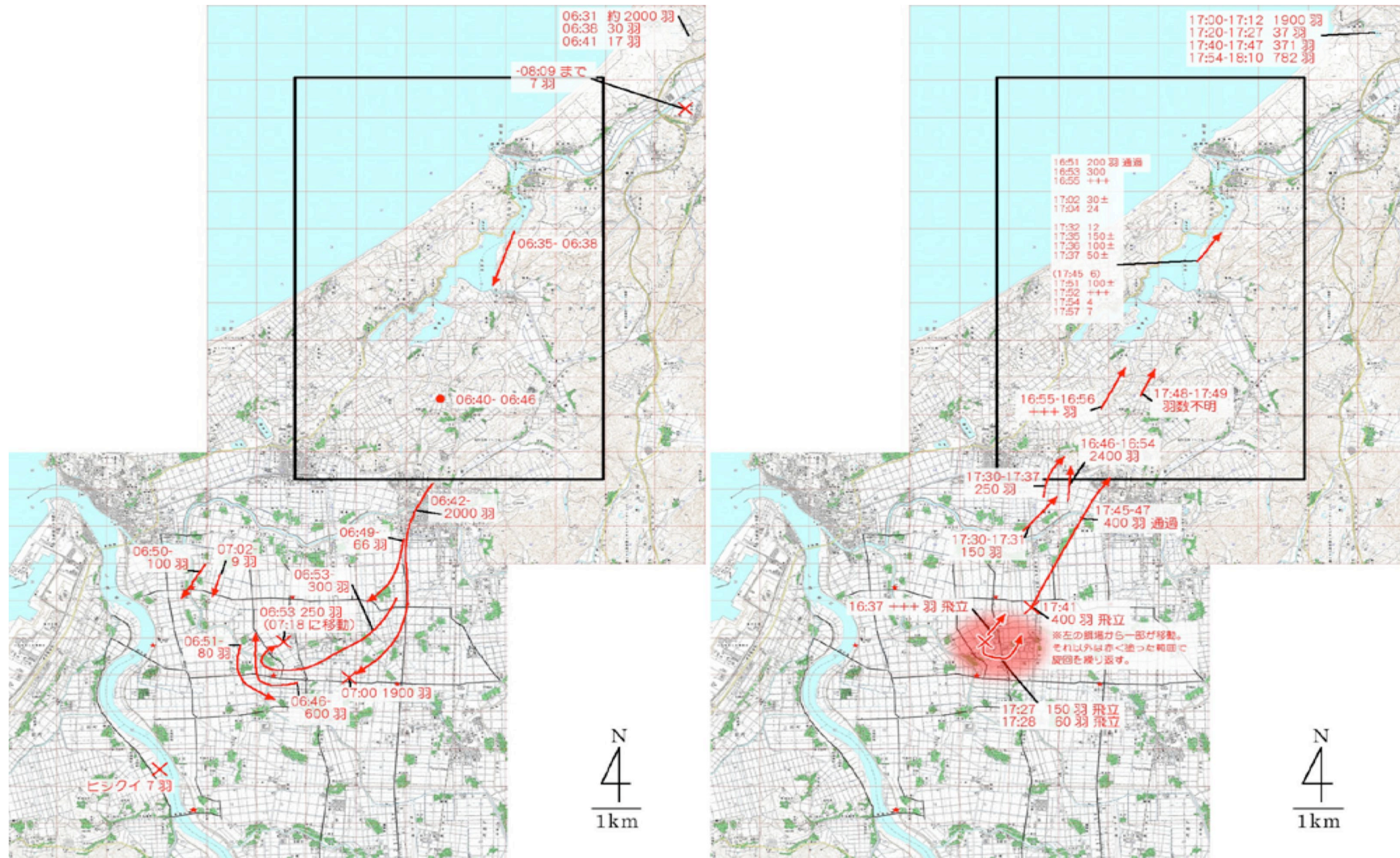
餌場までの距離 約15km  
平均飛行速度 71.4km/h

# マガンの飛行ルート(2010年2月6日)



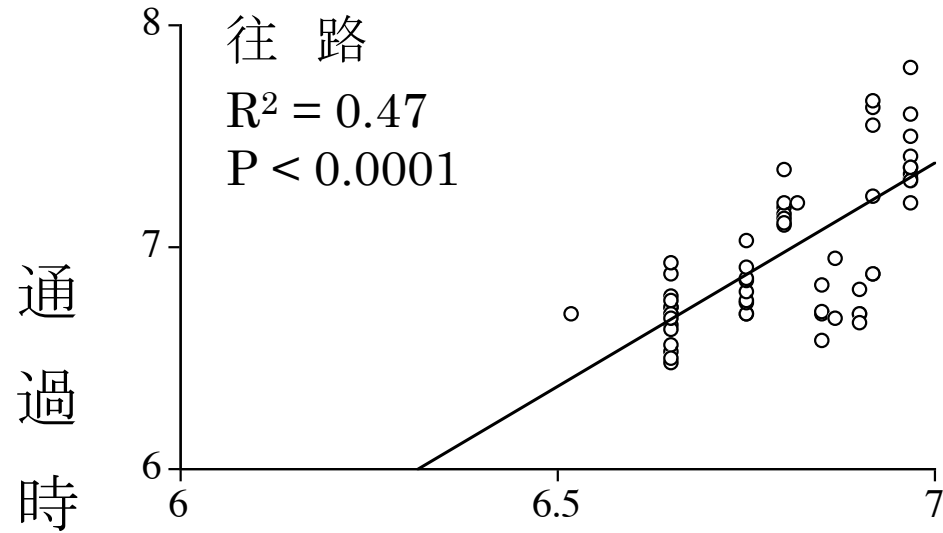
餌場までの距離 約15km  
 平均飛行速度 48.2km/h

# マガンの飛行ルート(2010年2月7日)

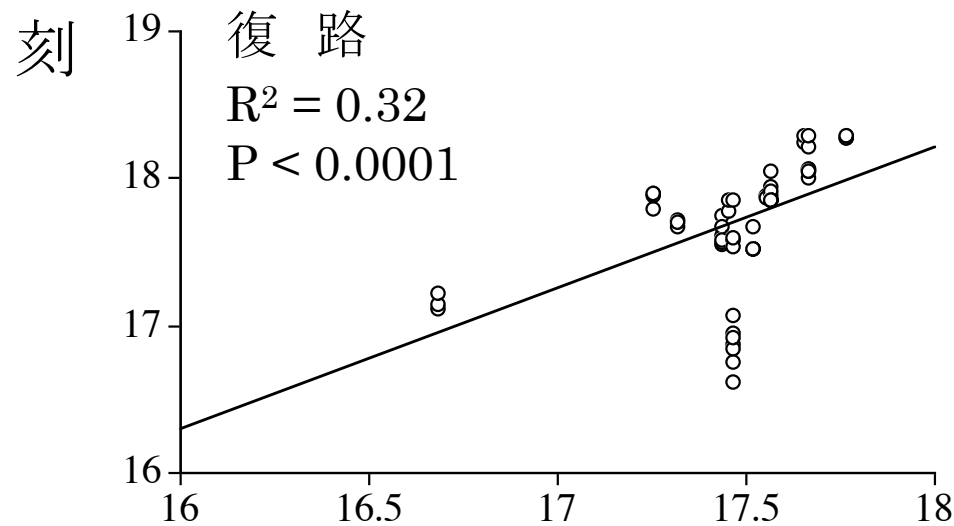


餌場までの距離 約14km  
 平均飛行速度 66.8km/h

# マガンが北潟湖を通過する時刻と日の出入り時刻の関係



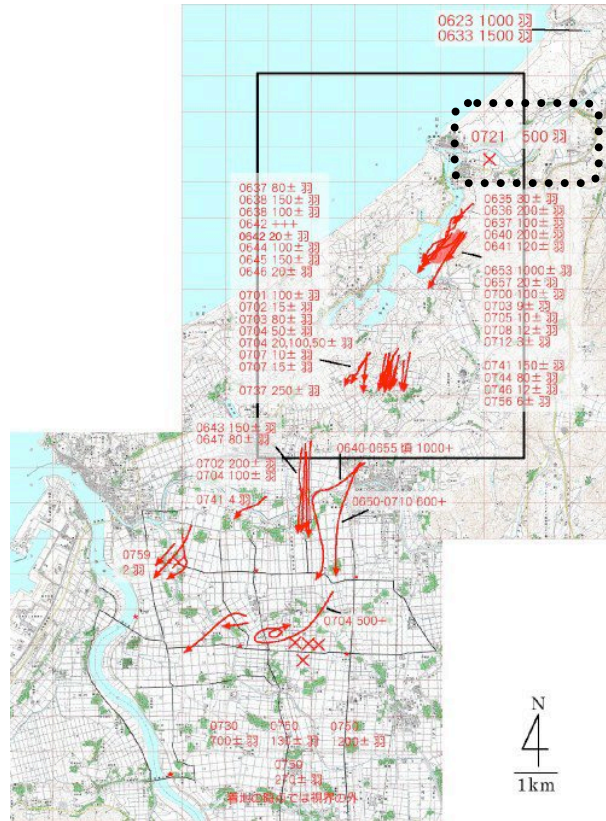
日の出 $9.9 \pm 17.5$ 分後  
(範囲: 16分前から68分後)



日没 $16.2 \pm 17.8$ 分後  
(範囲: 43分前から39分後)

日の出入りの時刻

# マガンが北潟湖を通過する時刻 —留意すべき点—



- ・大聖寺川流域に降りた後、再度飛び立って坂井平野に移動する場合がある
- ・鴨池と坂井平野を1日に2往復することがある

(例)2009年11月10日

6:20から6:30に飛び立つ

(加賀市内にはいない)

10:00から12:00に鴨池に戻る

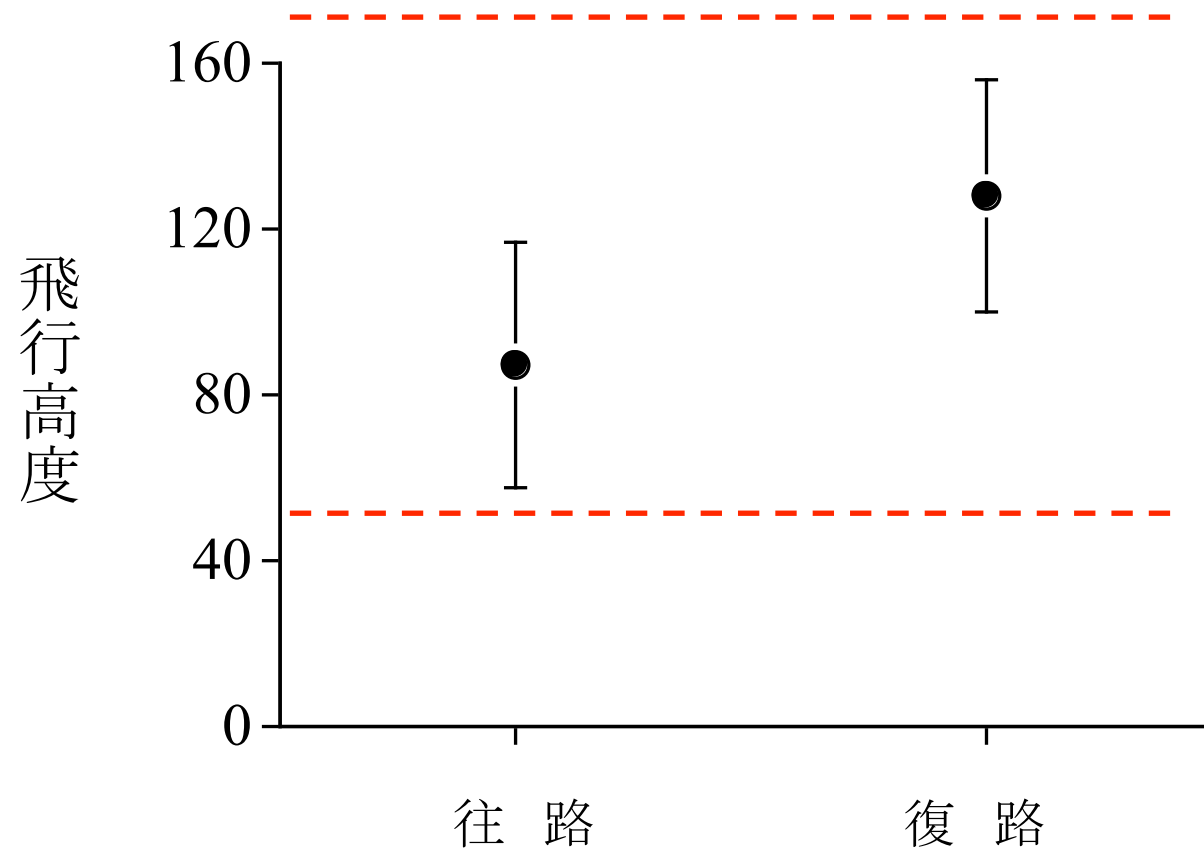
15:00から飛び立ち

(加賀市内にはいない)

時刻不明 鴨池に戻る

→通常と異なる時間に北潟湖を通過する

# マガンの飛行高度



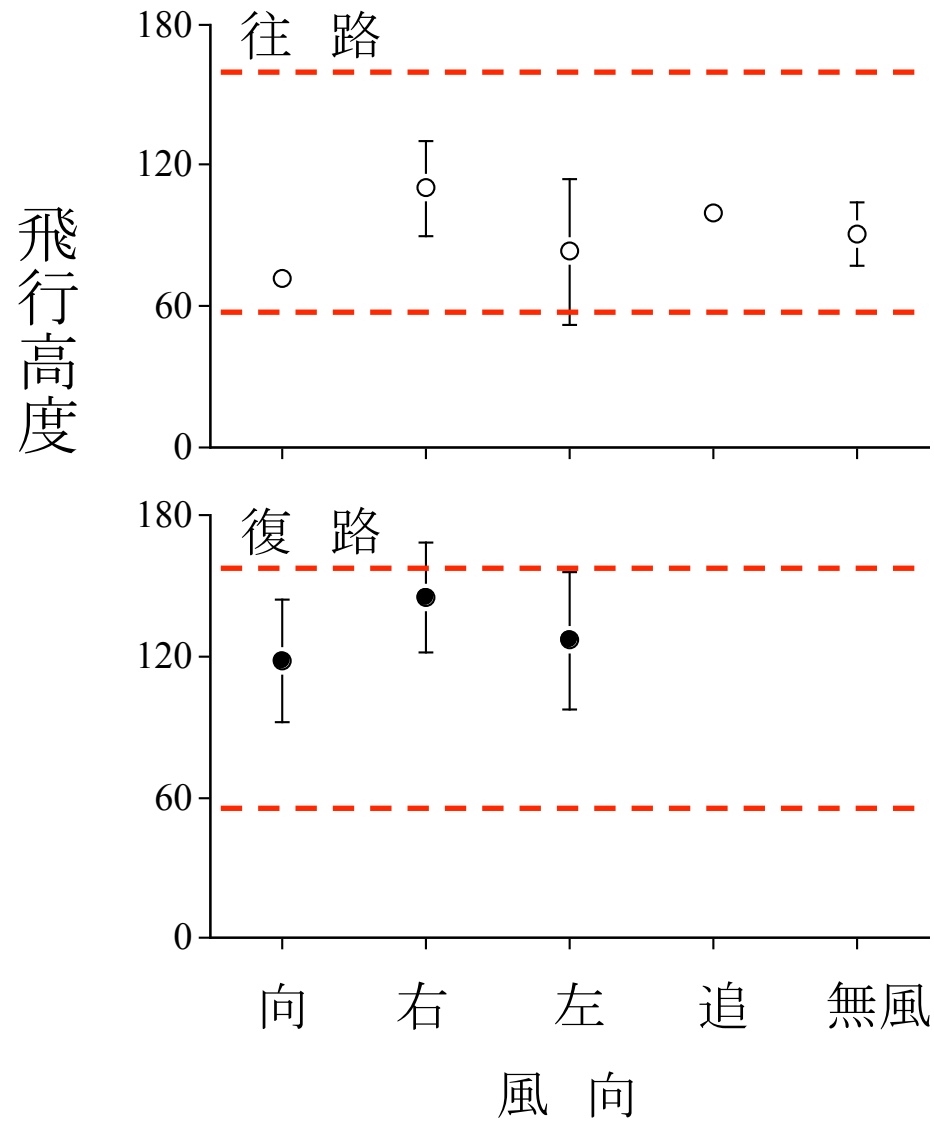
往路: 平均 $87.6 \pm 29.4$ m (範囲: 45.1-181.6m、N=52)

復路: 平均 $128.3 \pm 28.2$ m (範囲: 70.5-188.1m、N=41)

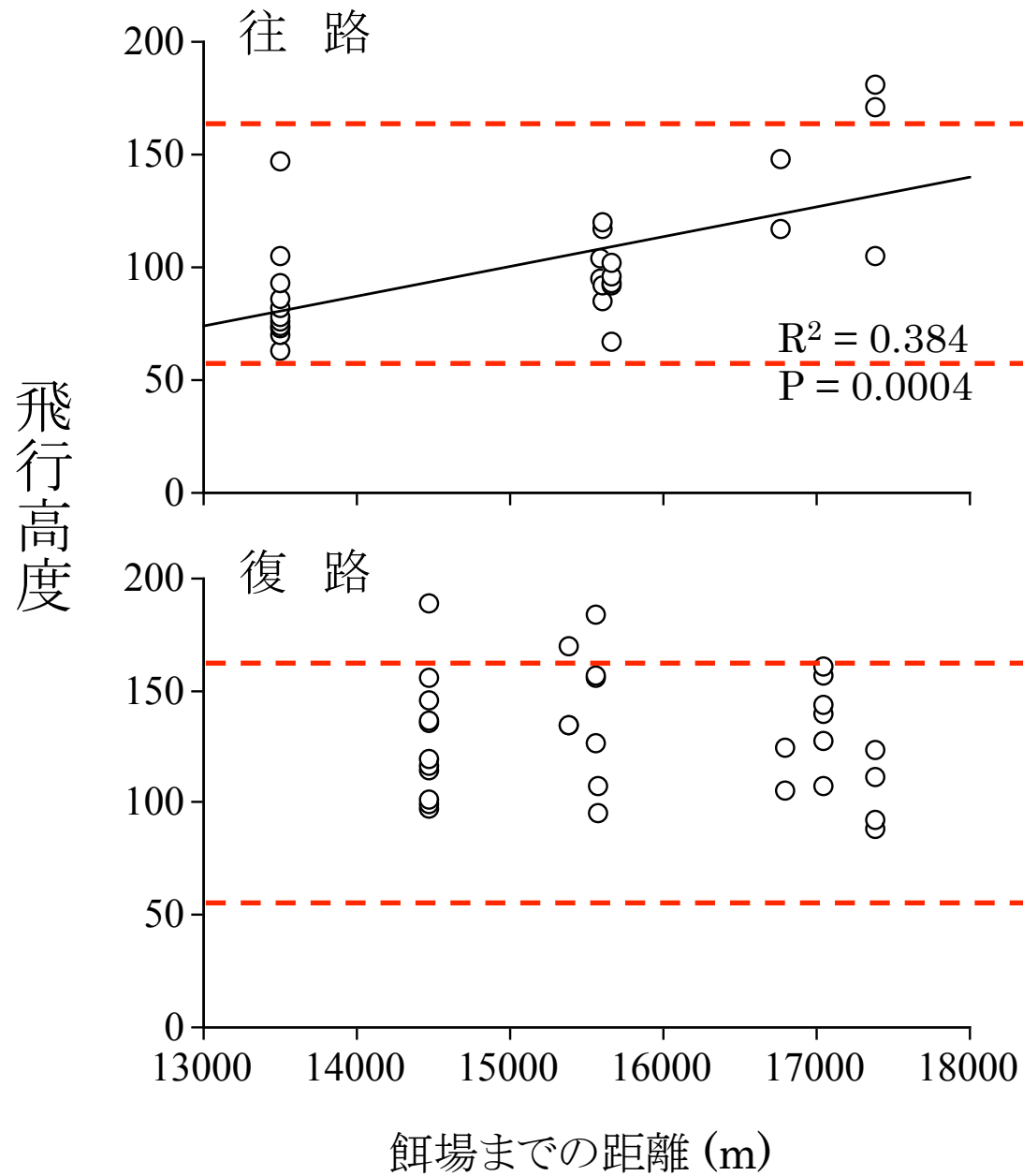
点線は支柱高75m、回転半径41mの風車が建った場合のブレード回転面の下端と上端。  
各風車の建設地点の標高はこれまでの資料を基に、地形図から求めた。



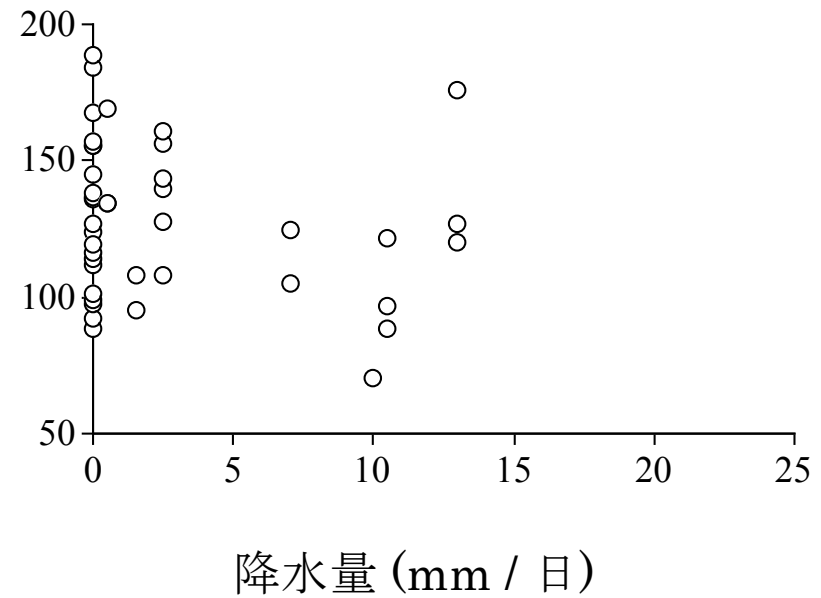
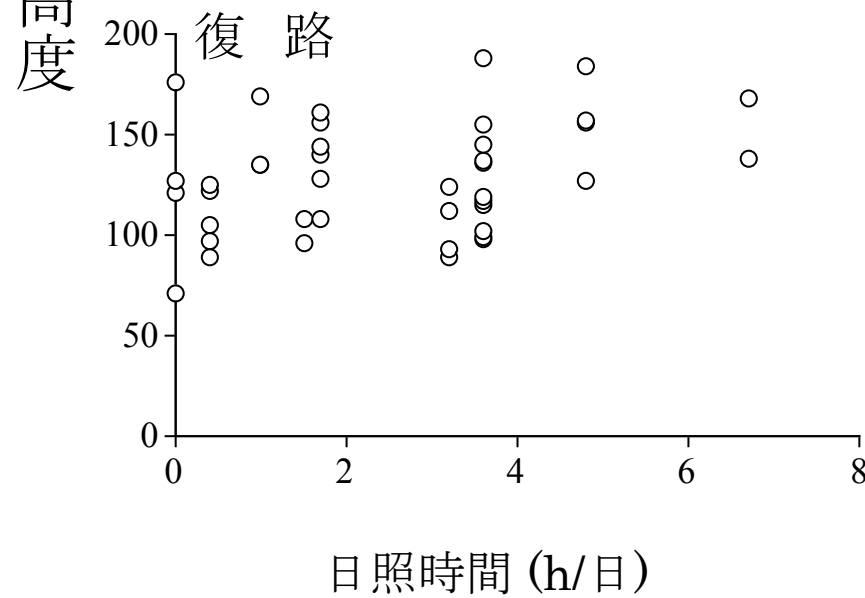
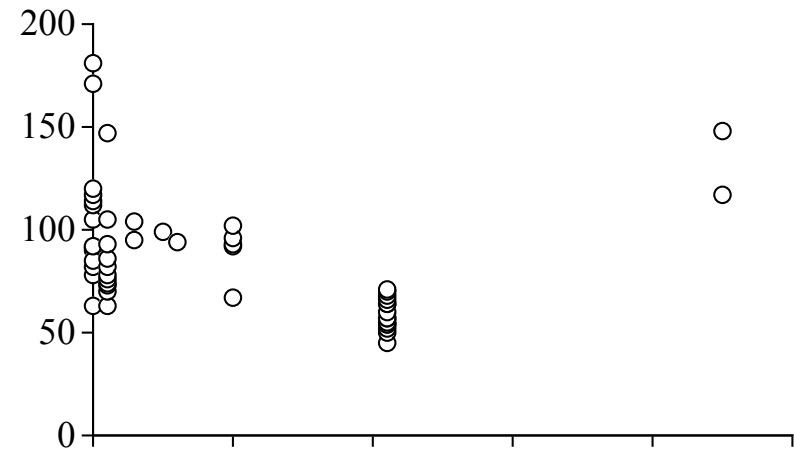
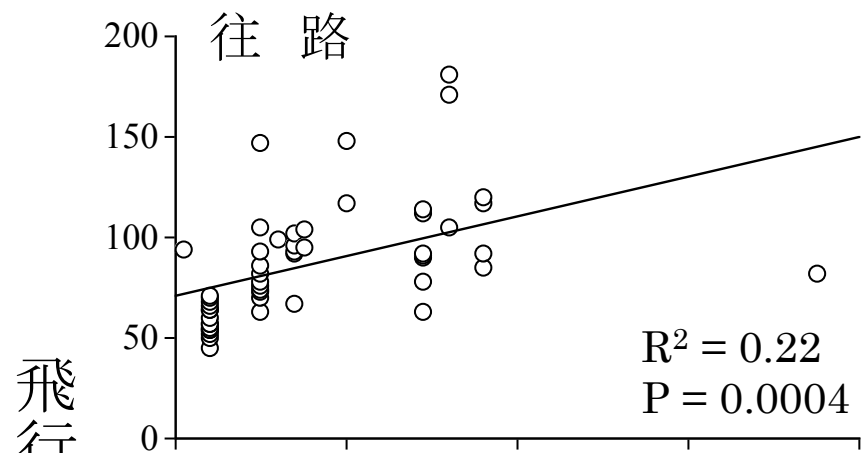
# マガンの飛行高度と風向



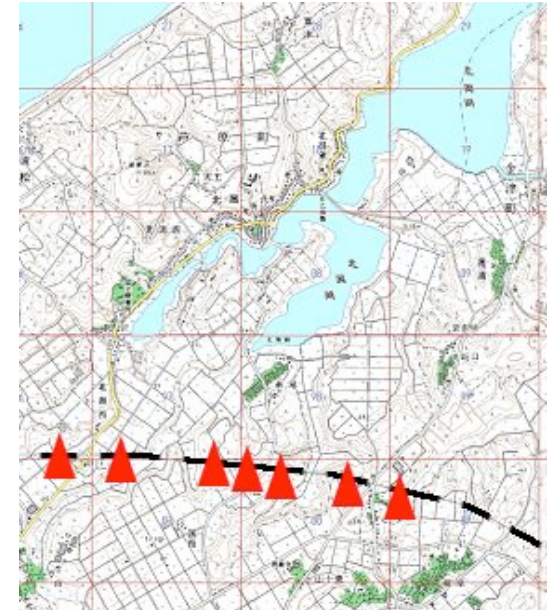
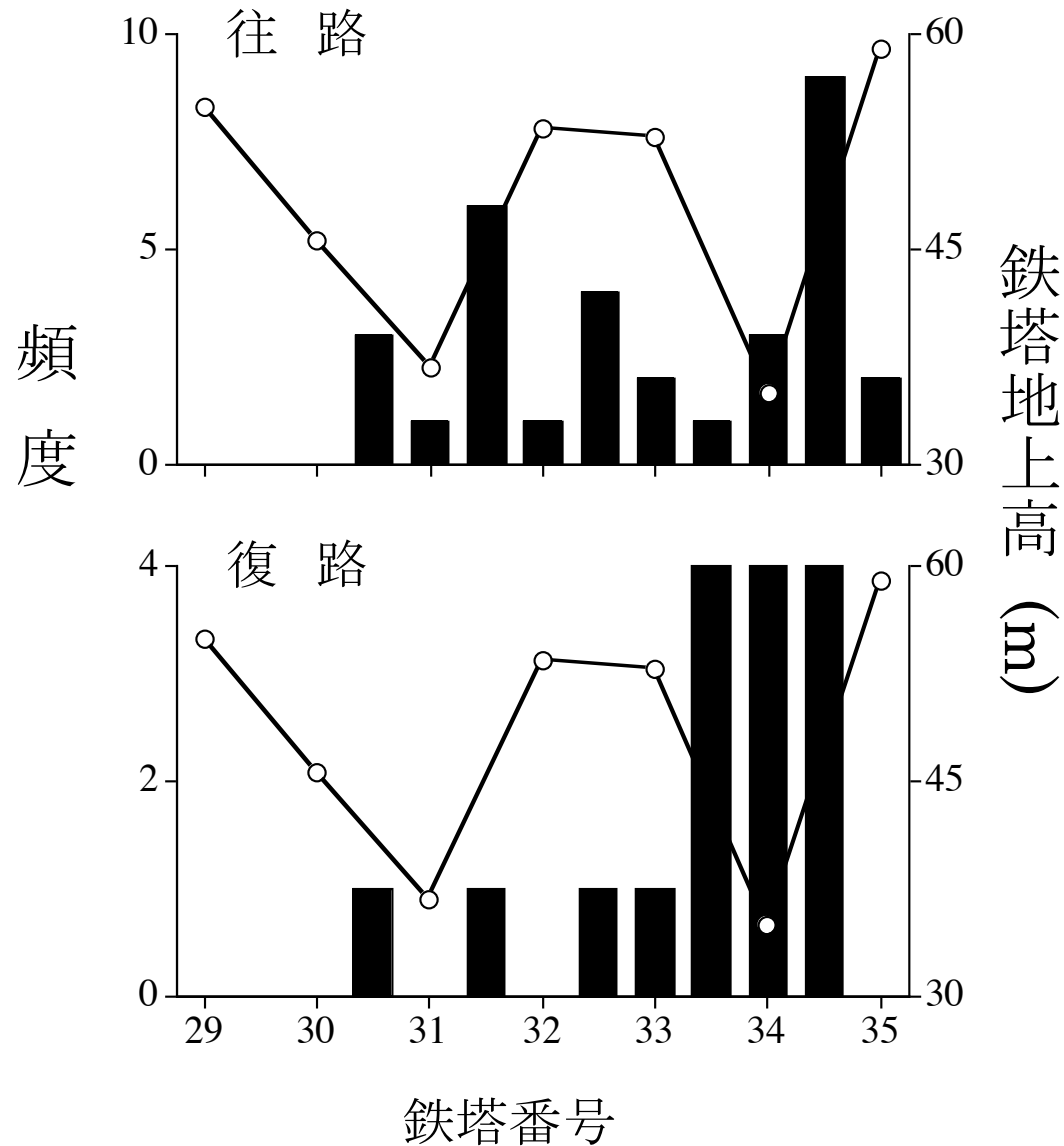
# マガンの飛行高度と採餌場所までの距離



# マガンの飛行高度と日照時間・降水量



# マガンが通過する高圧鉄塔の位置と頻度

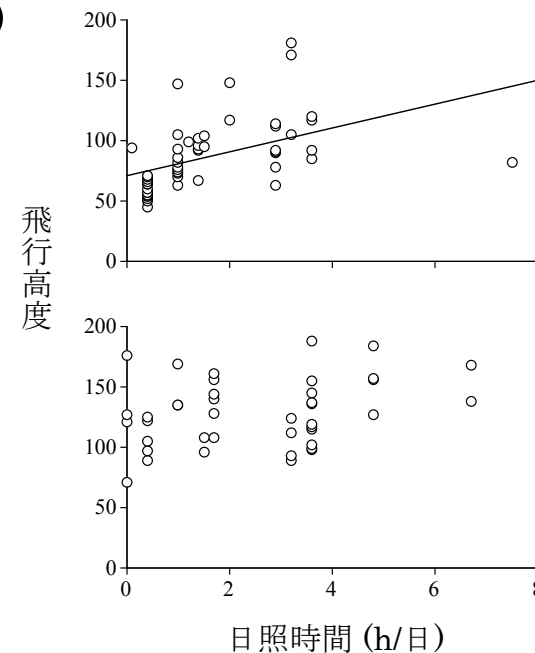


高圧線を越えるマガン

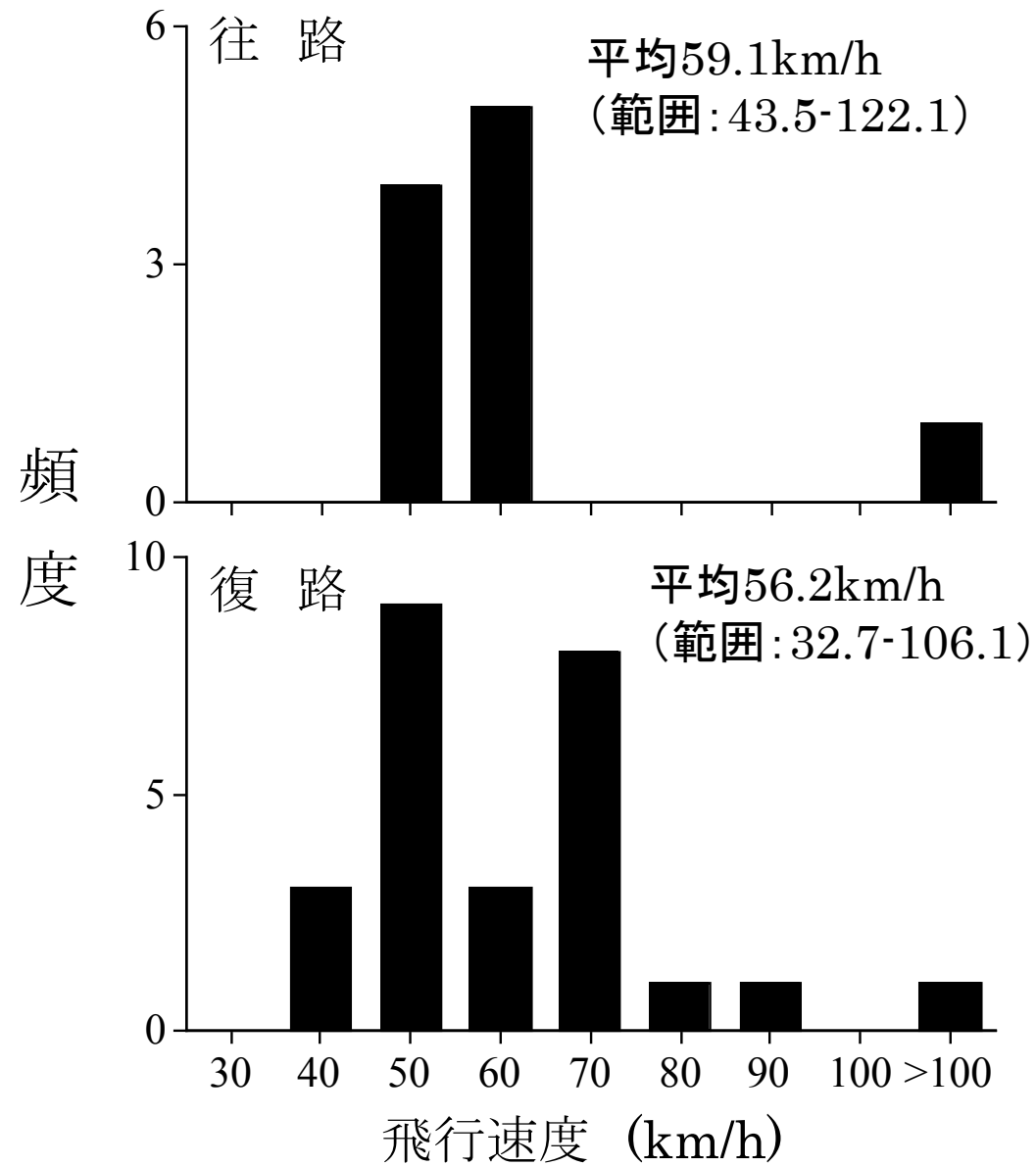
## マガンの飛行高度

- ・往路より復路の方が飛行高度が高い傾向
- ・往路、復路とも向かい風で高度が低く、横風で高い傾向
- ・往路では、高度と採餌地点までの距離の間には正の相関関係
- ・往路では、高度と日照時間の間には正の相関関係
- ・鉄塔(高圧電線)を越える際は地上高の低い位置を通過することが多かった
- ・復路では、気象条件や採餌地点までの距離との間に相関関係は見られず

復路で通過回数の多かった鉄塔は標高約80m

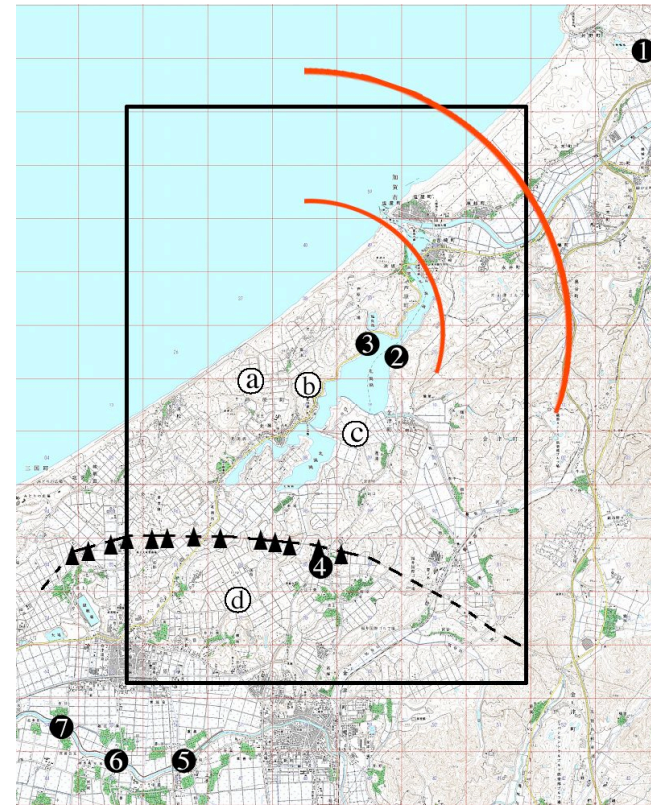
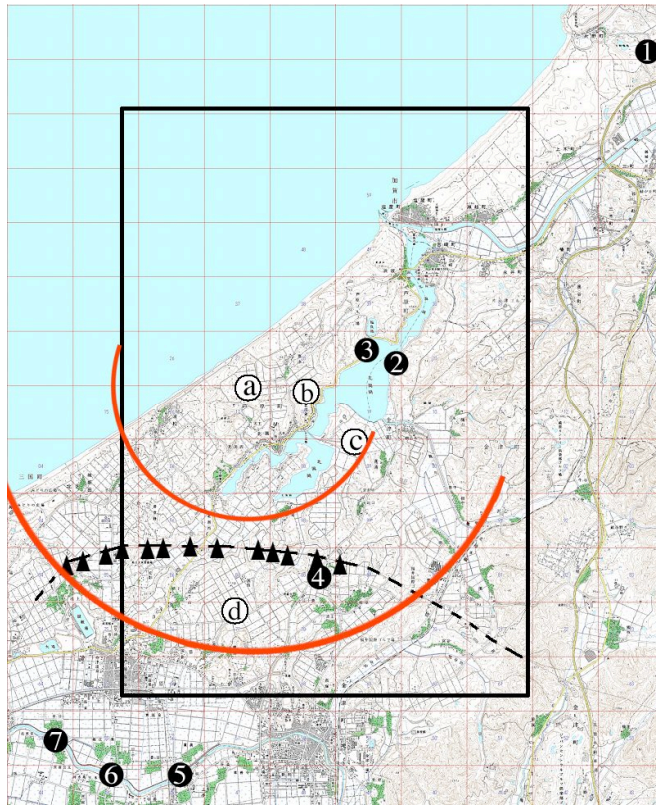


# 北潟湖を通過する際のマガンの飛行速度



## 北潟湖を通過する際のマガンの飛行速度

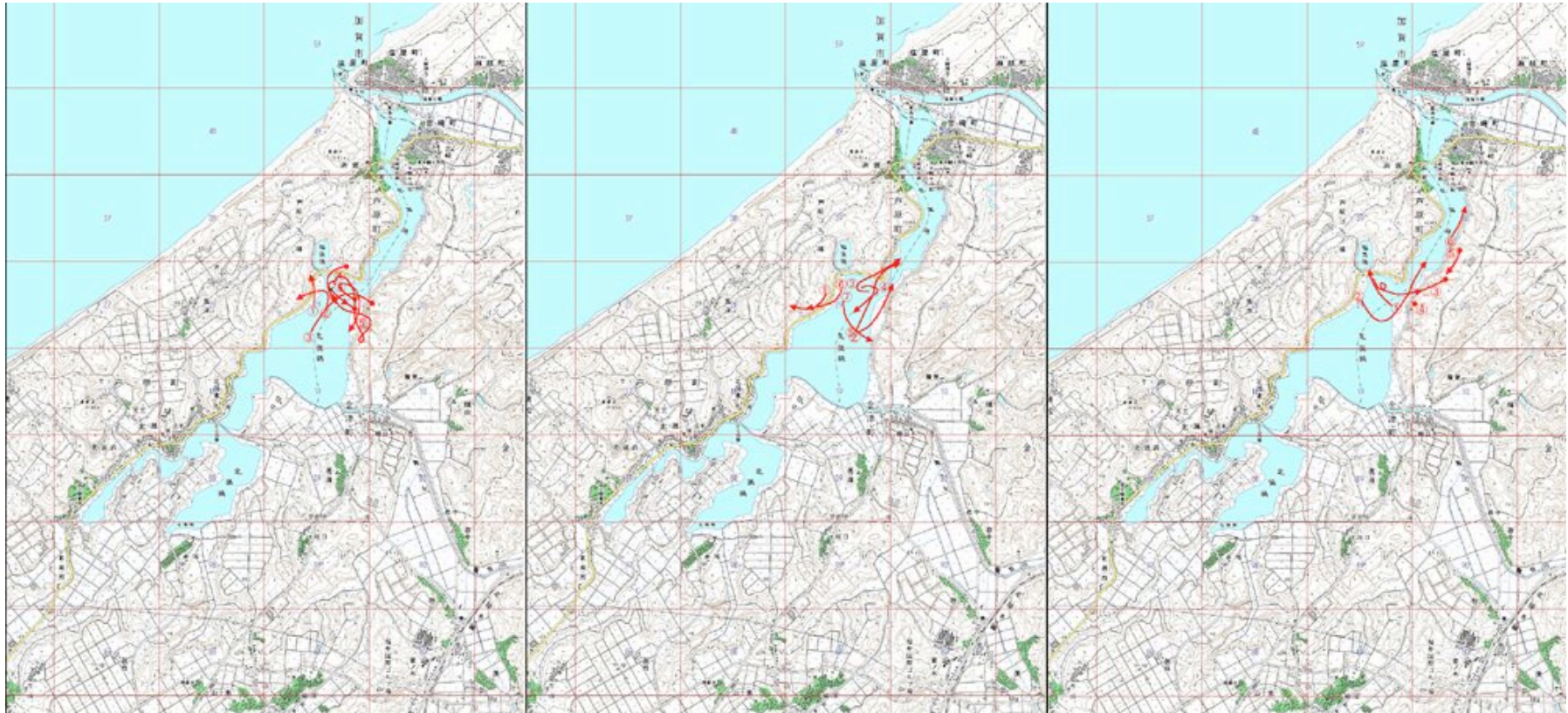
- ・最高速度で飛行すれば、毎分2035m、1768m進む
- ・平均速度で飛行すれば 毎分985m、 937m進む



風車の位置から2km、4kmの範囲

# ガン類以外の注意すべき鳥類

## 1) オジロワシ



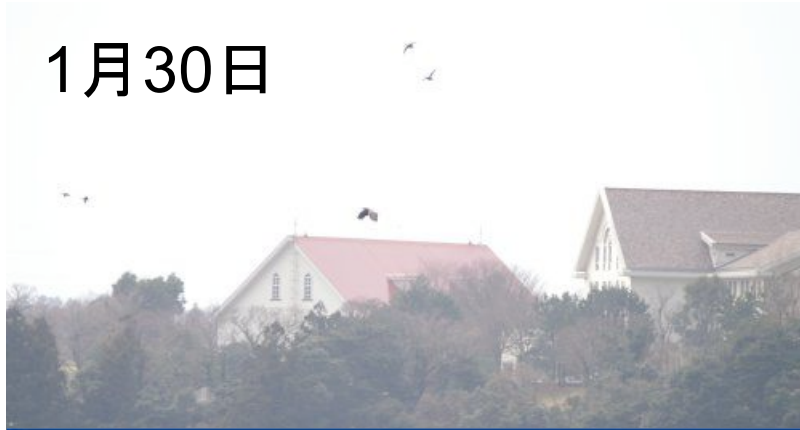
- ・2009／2010年の冬は2羽が越冬
- ・湖西岸の丘も利用



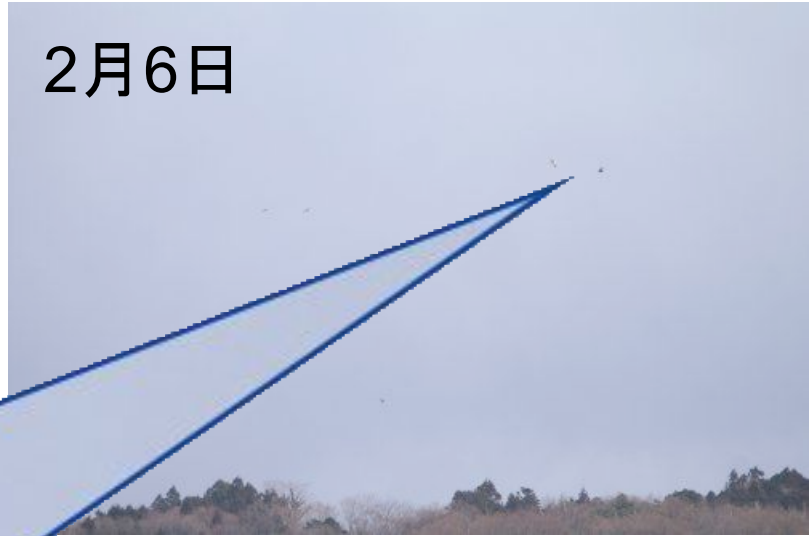
# ガン類以外の注意すべき鳥類

## 1) オジロワシ

1月30日



2月6日



## ガン類以外の注意すべき鳥類

### 2) ナベヅル

1月18日から6羽越冬

1月中は加賀市と坂井市を行き来



2010年1月26日

加賀市内に戻るため北潟湖上空を通過するナベヅル。日中には坂井市で観察された。

### 3) コウノトリ

福井県内で越冬していた個体が  
加賀市内でも確認。通過の可能性？

### 4) トキ

富山、あわら市、福井市で記録された後  
加賀市内で撮影された。通過の可能性？